

R6年1月

共同研の講演会が12月25日にありました。講師の先生は大阪大学附属病院の言語聴覚士の諏訪先生でした。本校の生徒や、通級の生徒たちもお世話になっている先生です。

冬休みに入ってすぐの開催にもかかわらず、50名を超える先生方に集まっていただきました。「聴覚障がいを知りたい」という思いの表れだと思いました。「**補聴器と人工内耳～子どもたちに必要なこと**」と題した講演内容でしたが、質疑応答も30分以上となり、地域の幼稚園や学校での困り感を共有できたことはとても良かったです。



アンケートの内容を紹介いたします。

・どの位聞こえるのか？生活の中での音でどんな音が聞こえるのかということもこれからの生活の中で役立てていきたいと思いました。保育所全体で意識していこうと思いました。



・何が聞こえて、何が聞こえていないのか、今何を困っているのか、少しでも生徒の理解につながることであればと思いました。

保育や学習活動の中で生かしていけたらというアンケート結果が多く寄せられました。今後も、地域の先生方に有効な講演会を考えたいと思っています。

早期幼稚部の療育相談

本校に通学していない3歳～5歳児を対象に教育相談をおこなっています。月に1～2回、地域の幼稚園・保育園が終わってから、保護者の方と一緒に登校されています。保育園・幼稚園でおこなったことを先生と一緒に話をしながら描いたり、絵本を読んだり、発音の練習をしたり、カードゲームをしたりしています。保護者の方々も日常生活の中での悩みや疑問、うれしかった出来事など、いろいろお話をされています。

周りの大人と気持ちが通じ合える体験を通していろいろな方法で豊かなコミュニケーションが取れるように支援をしていきます。

小学生通級指導

6年生は進学に向けての学習をしました。進学先の中学校は、他の小学校からの入学生がほぼいなくて、大多数は自分の障がいのことを知っているから安心だと話す子もいました。その逆もありました。また、教科担任制になり補聴援助システムのマイクを毎時間受け渡しすることを説明すると、「自分にできるかな」と心配する子もいました。中学校により環境の変化に違いはあれ、変化のない子はいません。周囲の助けを得ながら新生活に慣れていけたらと願っています。そのためのサポート（例えばループサポートプラン）がありますので、ご相談ください。

中学生通級指導

自分の通っている中学校と自己紹介を他の通級指導の生徒に向けて行いました。普段お互いに顔を合わせることはないので、紙面上の交流となりました。中学校生活できこえにおいて難しいと感じている点や工夫していること、自分の好きなことなどを書き、それぞれ画用紙に貼りあってお互いのものを見合いました。学校生活でのきこえにくい点と工夫では、ここは自分と同じ、これは違うなど自分と他者との比較をすることができた生徒もいました。

通級・教育相談生の修了式を実施します3月9日（土）9：45～受付開始です。式が終わってからは交流会をします。日頃会えない通級・教育相談生が交流します。楽しく交流できたと思っています。

また、3月頃に小学校中学校に通級、教育相談の申し込みが届きます。配付のほうよろしく願いいたします。また、新入生に関しては入学式にお渡しいただけたらと思います。

最後になりましたが、通級指導教室に関して、この1年ご協力いただき本当にありがとうございました。

大阪府立堺聴覚支援学校支援学校 聴覚支援センター 小田・梅本・山岸・岡本・木村

〒591-8034 堺市北区百舌鳥陵南町1丁 ☎072-257-5471

📠072-257-3310

